

特にご意見を頂戴したい項目（1）

本プランが全庁に浸透し、職員が「自分ごと」として新しい働き方に取り組むためには、どのような方策が効果的か。

【参考】

●これまでの委員会でもいただいたご意見 ■実施済・R5推進方策の主な内容

- 当社では社員のモチベーション向上のために動画を発信している。知事から職員に伝えることが大切
- プラン実現によりどんな県庁になりたいのかという理念を明確にして、トップが打ち出すことが重要

→ ■知事が動画で職員にメッセージを発信（R5.4）

■幹部が率先して新しい働き方を実践・行動指針を宣言（[兵庫県庁「わたし」からアクション宣言](#)）

- 重要なのは現場職員のやる気なので、ボトムアップで知恵や工夫を吸い上げる仕組みも重要

→ ■若手職員提言部会を設置（取組状況の検証、新たな対策の提言等）

■庁内向けの出前講座で、業務改革の進め方や事例、意見交換等を実施（P14）

- カルチャーやマインドセットの変革は、みんなが共有できるWHYがないと行動につながらない。
- アクションベースで伝えたり、わくわく感のあるメッセージで従業員満足度を高めるようにしている。

→ ■体験スタンプラリーの実施（P14）

■研修や情報発信により、理念・ビジョンや、メリット、具体的な実践方法、事例等を共有・発信（階層別研修（P14） 、ガイドライン（P2・10） 、庁内向けICT活用マガジン（P12） ）

特にご意見を頂戴したい項目（2）

多様で柔軟な働き方（テレワーク等）を推進していく中で、パフォーマンスを維持・向上させるためには、どのような方策が効果的か（環境・制度面、マネジメント、コミュニケーション、人材育成・OJT・ノウハウ継承等）

【参考】

●これまでの委員会でもいただいたご意見

■実施済・R5推進方策の主な内容

- 在宅勤務を特別措置とすると制度利用者の不利益になるため、全員が活用すべき制度として広げてきた
- 介護・育児など職員によって環境が変わるため、多様な選択肢を残し、最適な職場環境を設けた方がよい

→ ■在宅勤務制度の導入（全職員を対象に実施：R3.4～）

■サテライトオフィスの設置（県内20箇所）／スポットオフィス勤務制度(仮称)の新設（P2）

■テレワーク兵庫の導入／モバイルPCへの更新検討（P9）

- 強制は反発を招くので、職員が「いいことだ」と実感しないと結果に繋がらない

- Teamsもまずは知事が利用しないとイケない。そうして幹部が利用し始めることで組織が徐々に変わってくる

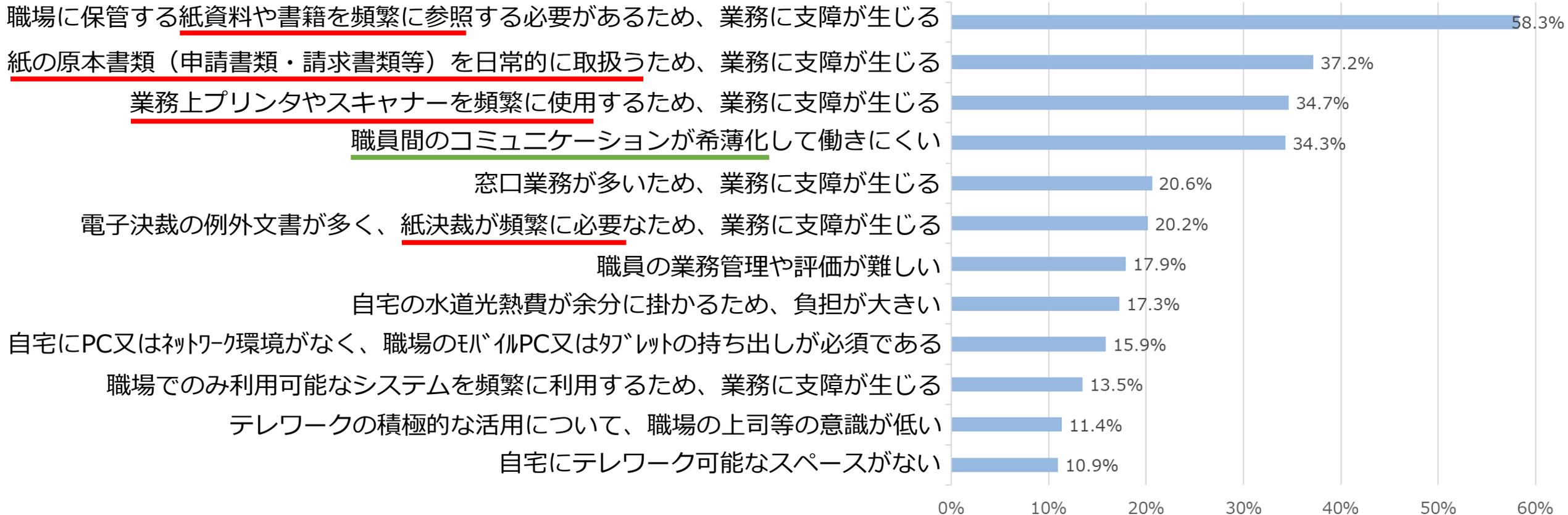
→ ■Teamsの活用促進（P2）

■テレワークガイドラインの作成（P2）、コミュニケーションポリシーの作成（P4）

参考：職員満足度調査結果（R5.3実施）

✓ 「紙資料を前提とした業務」や「職員間のコミュニケーション」が、テレワークの更なる活用を進める上で課題となっている

○テレワークの更なる活用に向け、あなたが課題に思うことは何ですか？（複数選択可）



特にご意見を頂戴したい項目（3）

ICTを活用した業務改革を進める上で、効果的な方策や取組事例をご教示ください。

① 新たなツールの先導的な活用・拡大

（例：ノーコードツールによるアプリ開発の内製化、ChatGPT等生成AIの活用アイデア等）

② 既存ツール活用やペーパーレスの原則化

【参考】

● これまでの委員会でいただいたご意見

■ 実施済・R5推進方策の主な内容

① 新たなツールの先導的な活用・拡大

- 民間のものの方が安くていいものがたくさんあるので、なるべく民間のものを使うという視点も必要
- 新しく始める際は、まずは小さなスケールでやって、支障がないことを確認できれば先に進めることが重要

→ ■ ノーコードツール等の利活用（P12）

■ ChatGPT等生成AI活用検討PT（R5.5～）

構成員：若手職員22名、アドバイザー（大学教授、AIベンチャー役員）
実施内容：活用実証、実証結果の検証、県民参加によるアイデアソン
ガイドライン取りまとめ（2023年秋頃）

② 既存ツール活用やペーパーレスの原則化

- 審議会等の外部委員会は、ペーパーレス化を原則とすべき
- デジタル化に対応できないベテラン職員をフォローできる体制を整えておくべき
- ペーパーレス化に伴い、紙の公文書の取扱いやデジタルの公文書への移行手段等、ルール作りが必要

→ ■ 電子決裁による意思決定の徹底（P9） / ■ 会議・打合わせ等のペーパーレス原則化（P9）

■ 資料のデータ管理原則化（P10） / ■ 職員のICTリテラシー向上（P12）